



大浜中だより

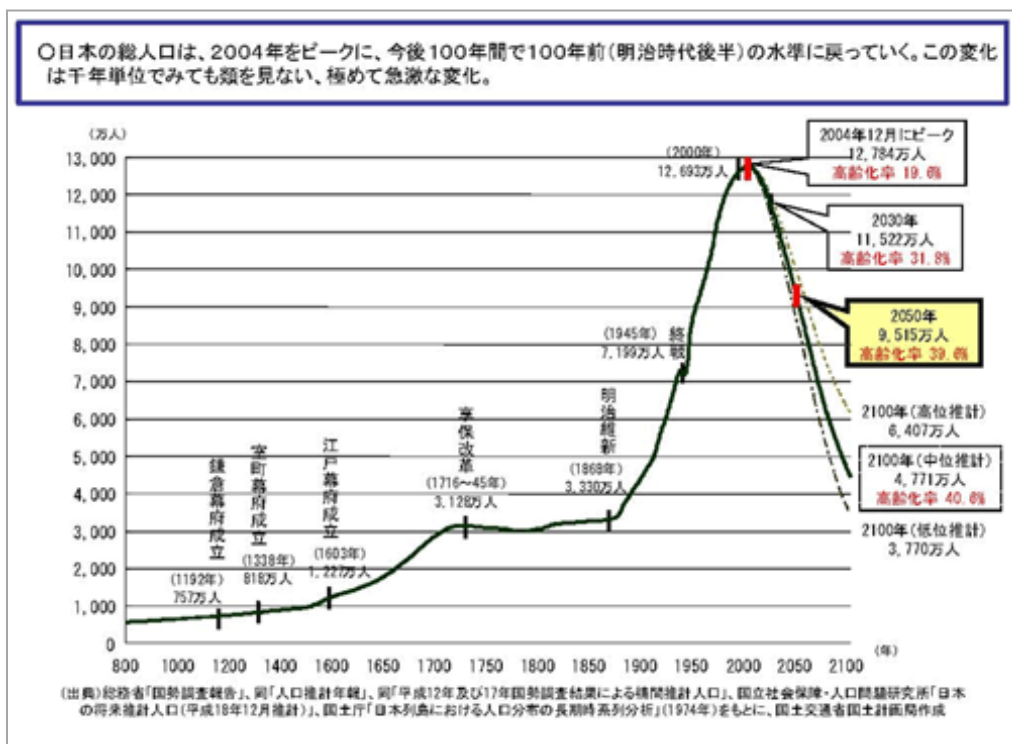
2017.1.11

H28 新年を迎える会・第5 ステージ集会での校長のお話より

あけましておめでとうございます。冬休みはどうでしたか？良い冬休みだったでしょうか？新年になりましたので、3 年生は受験や進路・卒業に向けて、1、2 年生は進級に向けて、新たな気持ちでスタートを切りましょう。

本日の校長の話としては、今年は酉年ということなので、酉年の「酉」はなぜ酒の「さんずい」がないものを使っているかなど、干支の話でもすればよいのかもしれませんが、私はみなさんに伝えたい別のメッセージがありますので、その話をします。

まず、以前にもみなさんにお見せした総務省から出されている日本の人口推移のグラフです。



簡単に復習すると、明治維新頃から急激に人口が増え、2004年12月にピークを迎え、その後下降をたどっている。その後はもちろん予想ですが2100年頃には明治維新ごろの人口になるだろうというグラフでした。上昇していく時代と下降していく時代はまったく別の時代になりますし、下降という時代はこれまで日本では経験した人がいないということでした。

これまでは「予測可能な時代」であったものが、これからは「予測困難な時代」となると言われています。はじめて経験する時代に入っているからそういうことになります。

予測可能な時代ではマニュアルどおりに物事を進めることのできるいわゆる「マニュアル人間」が大変重宝されました。「マニュアル人間」という言い方はあまり良くないと思いますが、予測可能な時代は「こういうことが起こったらこうする」と決めておけばそんなに困らなかったわけです。

しかし、これからは「予測困難な時代」に入ります。そうするとマニュアル通りに行動できるだけでなく、「想定外に対応する力」が必要になってきます。マニュアル通りに動くことはこれからは人工知能「AI」が受け持つなどすると、むしろ「想定外に対応できる力」を持った人が必要になってくるといえます。みなさんもこれからはそういう力を身につけることが求められるようになっていきます。

「想定外に対応する力」は言い換えると「新しい考えを生み出す力」だと思います。

「新しい考えを生み出す力」は「批判的な思考力」や「疑問に思ふ心」を持っている人が、「対話や読書」などをきっかけとして、

その人の中に育っていくものだと思います。

「批判的な思考力」については、誤解されがちですが、単に物事に反対したり、非難することとは違います。「本当にそれでいいのだろうか?」「もっといい方法はないのだろうか?」と考えることです。たとえば、昔は長い距離を移動するのに歩いていました。「それを何の迷いもなく受け入れる人」と、「もっといい方法はないのだろうかと考える人」には差が生まれてきただろうことはわかりますね。「もっといい方法はないのだろうか」と考えてみた人がいたからこそ、自転車や自動車がこの世に誕生してきました。

もう一つが「疑問に思う心」です。疑問に思う心が学習しようという「意欲」につながります。わからないことがあると「調べてみよう。」「わかりたい。」と思います。それは自分で調べたことですからいつまでも覚えている「定着」につながります。授業でも「それはわかったけど、それじゃあこういう場合はどうなるの?」と思うことです。「わからない」ときは「わからない」とはっきり言えることです。「ここまではわかっているけどここからがわからない。」としっかり言いましょう。

この2つ「批判的な思考力」「疑問に思う心」は日常生活のみならず、特に授業で大切にしていってください。そして、「新しい考えを生み出す力」をもった人になって欲しいと思います。

————— 今後の主な日程 —————

1月12日(火)	1・2年学力調査テスト、3年学力テスト
1月13日(水)	3年生進路説明会
1月24日(火)	1・2年生 参観懇談会、学校関係者評価委員会
1月30日(月)～	私立高校 願書受付
2月7・8日	私立高校 入試
2月15日(水)	1・2年生 校内テスト
2月16日(木)	私立高校 合格発表 PTA役員引継会
2月17日(金)～	公立高校 願書受付
2月24日(金)～	公立高校 志願変更 新入生用品販売
2月27日(月)	生徒大会
3月2日(木)	新PTA常任評議委員会
3月3・6日	公立高校入試
3月7日(火)	学年会計監査
3月8日(水)	三年生を送る会
3月10日(金)	公立高校追検査
3月15日(水)	公立高校 合格発表
3月17日(金)	卒業式・修了式 公立高校 再募集受付
3月21日(火)	PTA会計監査
3月22日(水)	公立高校 再募集検査
3月24日(金)	公立高校 再募集合格発表
3月28日(火)	離任式

